



① 日本国特許庁

公開特許公報

特 許 願 (1) 発 明 記 号 な し

昭和 48 年 5 月 7 日

特許庁長官殿

1. 発 明 の 名 称 回転ドラム式洗濯機

2. 発 明 者

住 所 守口市京阪本通2丁目18番地

三洋電機株式会社内

氏 名 西 好 算

3. 特 許 出 願 人

住 所 守口市京阪本通2丁目18番地

名 称 (188) 三洋電機株式会社

代 表 者 井 植 薫

連絡先: 電話 (東京) 03-5511-1111 特許部配電 課

4. 添 付 書 類 の 目 録

- | | |
|-------------|-----|
| (1) 明 細 書 | 1 通 |
| (2) 図 面 | 1 通 |
| (3) 願 書 副 本 | 1 通 |

① 特 開 昭 50 - 1566

③ 公 開 日 昭 50. (1975) 1. 9

② 特 願 昭 48 - 51796

② 出 願 日 昭 48. (1973) 5. 9

審 査 請 求 未 請 求 (全 3 頁)

庁内整理番号

6687 34

② 日本分額

92(5)B422

明 細 書

1. 発 明 の 名 称 回転ドラム式洗濯機

2. 特 許 請 求 の 範 囲

外周胴部に洗濯物投入口を設けた回転ドラムと、前記洗濯物投入口を施着する蓋体と、前記ドラムの洗濯物投入口縁に設けられ、ドラム胴体より外方へ突出したロックピンと、前記ロックピンの先端が係合すると前記ドラムを固定するため前記ドラムの外周の水受槽に設けたストッパーと、前記蓋体の先端に設けられ、前記ロックピンと係合する係合鉤金と、前記ロックピンに形成した括弧部に嵌入してロックピンの突出を保持する係合板バネとよりなり、前記蓋体の鉤金には前記ロックピンの挿通する孔部と、前記孔部に至る前記ロックピンの括弧部とほぼ同巾の切欠を形成してなることを特徴とする回転ドラム式洗濯機。

3. 発 明 の 詳 細 な 説 明

本発明は回転ドラム式洗濯機特に外周胴部に洗濯物投入口を設けた回転ドラムを有する回転ドラム式洗濯機に関する。

従来のこの種洗濯機の洗濯物投入口の開閉蓋を施錠する機構は、外胴の外方に部材などが突出し、ドラムと外胴間の間隙を多く必要とし、且ドアを開けて施錠する操作が複雑で取扱いに困難を伴うものであった。

本発明は、上記せる形式の洗濯機において、蓋体の施錠及び回転ドラムの開蓋時の固定を容易に操作し、確実な施錠を行い安全性にすぐれた回転ドラム式洗濯機を提供するものである。

以下実施例に基づき図について説明すれば、(1)は機枠にして、前記機枠(1)内には外周胴(3)に洗濯物投入口(4)を有する回転ドラム(5)が設けられ、この洗濯物投入口(4)には開閉自在な蓋体(6)が設けられている。

而して前記回転ドラム(5)の前記洗濯物投入口(4)の口縁にドラムの胴縁(8)に設けた透孔(7)を貫通して設けたロックピン(9)が突出せしめられている。このロックピン(9)はドラムの胴縁(8)より突出する部分に括弧部(9)を有している。又このロックピン(9)の括弧部(9)に嵌入せしめられるとき、ロックピンが

ドラム内に引き込まれるのを阻止する係合板パネ08がドラム側壁06に取付けられている。

又前記ロッキングピン09の先端が係合せしめられる凹所又は透孔09を有するストップ壁04が、前記ドラムの外方に設けた水受槽03の側壁に設けられている。更に前記せる蓋体04の前記ロッキングピン09と係合するための鉤金04には、前記ロッキングピン09が挿通する孔部08が設けられ、且前記孔部08に至る切欠08が設けられ、この切欠08はロッキングピン09の括弧09とは同巾に形成されている。08は前記ロッキングピン09をドラム内方向へ引込むよう附勢したスプリングを示し08は前記ロッキングピン09に接触した楔子である。

次に本発明の作用を説明すれば、第2図及び第3図は回転ドラム04の停止時に外槽03に固定した状態を示し、ロッキングピン09は楔子08をしてストップ壁04の透孔09に挿入せしめられる。このときロッキングピン09の括弧09に係合板パネ08が嵌り込んで、ロッキングピン09がスプリング09にてドラム内に引込まれるのを阻止し、ストップ壁04との係合状態を

保持している。この場合は蓋体04は閉塞状態であり、回転ドラム04内の洗濯物の出入れがされる。

今蓋体04を閉めることによって蓋体04の鉤金04が前記ロッキングピン09に当接せしめられるとロッキングピン09の括弧09に嵌っている係合板パネ08に鉤金04の先端が当接し、係合板パネ08のロッキングピン09との係合を解く、その状態でロッキングピン09がスプリング09の力でドラム内に引込まれると、ロッキングピン09が鉤金04の透孔09に嵌り込み、同時にストップ壁04との係合を外すことになる。なおロッキングピン09は先端がドラム側壁の透孔09より多少太い形状にして完全にドラム内には引込まないようになつてゐる。

閉塞するときには、楔子によつてロッキングピン09をドラムより突出させると蓋体04はその鉤金04が括弧09より外れて閉塞せしめられ、ストップ壁04の透孔09に嵌り込まれたとき括弧09に係合板パネ08が嵌合してロッキングピン09はストップ壁04に係合せしめられる。ロッキングピン09の他端09は蓋体の鉤金04の透孔09と係合せしめられる。

従つて本発明の構成によれば、上述せる構造にすることによつて蓋体の開閉が片手で容易に操作することが出来、ドラムと水受槽間の防定及びドラムと蓋体との施設が交互に且同時にして確実な操作出来、蓋体を開閉するのに両手を用いたり、回転ドラムを水受槽と固定する際あるいは固定を解く際、回転ドラムが回転し、ドラムと水受槽間に手を挟んで負傷することなく、蓋体の閉め忘れや半開き状態で洗濯物を運転し、ドラムと水受槽間に洗濯物を落し損傷する懸念もなく、更に簡単な構造で安価に提供出来るなど工業上の利益大なるものである。

4. 図面の簡単な説明

図面は本発明の回転ドラム式洗濯機を示し、第1図は断面図、第2図及び第3図は閉塞状態を示す回転ドラムの要部平面図及び側面図、第4図は第2図のA-A断面図である。又第5図は回転ドラムの閉塞状態の要部側面図、第6図は蓋体の鉤金の他方の側面図である。

1…楔子、3…外周部、4…洗濯物投入口、5

…回転ドラム、6…側壁、7…透孔、8…ロッキングピン、9…括弧、10…係合板パネ、11…透孔、12…ストップ壁、13…水受槽、14…蓋体、15…鉤金、16…透孔、17…切欠、18…スプリング、19…楔子。

特許出願人

三洋電機株式会社

代表者 井 根 量

